

# 啄木のふるさと

## 平成二十年度

## 夏の部

## 優秀賞発表

# 『もりおかの短歌』

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』は、啄木が生まれ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に本年度より実施している事業です。

年間を4つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。初めての募集となった夏の部は8月で終了、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。

投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は秋の部を募集しておりますので、啄木になった気分で行書きの短歌に一度挑戦してみたいいかがですか。

### 優秀賞 十首

ね 寝ころびし十五の人に心馳す

橡の実の降る

不來方の城

東京都板橋区 飛岡 光枝

もりおか 盛岡にそよぐ秋風

目瞑れば

はらはらと散る一本桜

千葉県市川市 福田かしこ

たくぼく 啄木のふるさとなれば

川も田も風の匂ひも

なべてなつかし

東京都小平市 清水 克江

ゆうたい いわて 雄大な岩手のお山に  
きょうしゅう かつりよく 郷愁と活力もらう

宮城県仙台市 平山 智子

こずかた しろ のぼ そらみ 不來方の城に登りて空見れば

彼の人も見し

雲の流れかな

東京都西東京市 石川 寛子

「どこから来た」「もう帰るのか」  
たくぼく 啄木の部屋に長居し

彼の声きく

京都府京都市 小坂純一郎

たくぼく 啄木の「新婚の家」に佇んで  
つま おも 妻を思い出す

岩手一人旅

兵庫県神戸市 石川 晴朗

ドンドコと  
きた みやこ な ひび 北の都に鳴り響く  
おと われ たか さんさ踊りに我も高ぶる

千葉県長生郡 江澤 完誠

たくぼく おちば ふ みち 啄木が落葉を踏みし道に来て

橡の青き実

ひとつ拾えり

岡山県新見市 本近 和子

ましかと ハンギングフラワーあふれる

街角は

ゆく人の目もどこか楽しげ

宮城県仙台市 平山 陽子

平成二十年夏の部  
投稿数 百十六首

選者 柏崎 駿二氏



市内ホテル等に設置されている投稿ボックス

